

第99回シンポジウム「加工と熱処理による優先方位制御」

(加工と熱処理による優先方位制御研究部会シンポジウム)

材料の高性能化には組成や組織の制御以外に結晶方位の制御が必要です。今後、産業のグローバル化や資源循環社会を考慮した研究が不可欠であり、組成制御のみに頼ることなく微細組織と結晶方位を最適化するためのプロセス制御がますます重要になると考えられます。展伸材の製造工程では、塑性加工のみならず、焼鈍や溶体化処理による再結晶が優先方位形成に強く影響を及ぼすため、両者を考慮した集合組織制御技術の確立が望まれます。上記研究部会では、加工と熱処理による新しい集合組織制御技術の構築を目指して、5つのテーマ：①優先方位評価の厳密化、②特性改善に有効な優先方位の予測、③冷間および熱間加工による集合組織変化、④再結晶集合組織に及ぼす加工・熱処理条件の影響、⑤新プロセスによる集合組織形成と材料特性、について研究活動を行ってきました。それぞれのテーマの代表的な成果を発表しますので、集合組織に関心のある方および集合組織について学びたい方など、多数のご参加をお待ちしております。

主催：一般社団法人軽金属学会

協賛：日本アルミニウム協会、日本マグネシウム協会、日本チタン協会、日本金属学会、日本鉄鋼協会、日本材料学会、日本機械学会、日本塑性加工学会、日本鋳造工学会、軽金属製品協会、軽金属溶接協会、自動車技術会、日本ダイカスト協会、溶接学会、粉体粉末冶金協会、日本顕微鏡学会（予定）

日時：平成28年11月28日（月） 10:00～17:20

会場：日本大学駿河台キャンパス 1号館 2階 121会議室（東京都千代田区神田駿河台1-8-14）

交通：JR中央・総武線「御茶ノ水」駅 徒歩3分、東京メトロ千代田線「新御茶ノ水」駅 徒歩3分、東京メトロ丸ノ内線「御茶ノ水」駅 徒歩5分

定員：100名

参加費：正・維持会員5,000円 学生会員1,000円 非会員10,000円 学生非会員2,000円（協賛学協会員は会員扱い）

申込先：軽金属学会ホームページ：<http://www.jilm.or.jp/>よりお申込み下さい。受講票、請求書等をお送りします。

問合せ：一般社団法人軽金属学会（〒104-0061 東京都中央区銀座4-2-15 Tel: 03-3538-0232 Fax: 03-3538-0226）

プログラム：

10:00～10:05	開会の挨拶	研究部会長 井上 博史
10:05～10:45	テーマ① 部会共通試料（A1050-H・A1050-O）の集合組織測定結果	株式会社 TSL ソリューションズ 鈴木 清一
10:45～11:25	テーマ② 結晶方位分布関数によるアルミニウム合金板の成形性予測	大阪府立大学 井上 博史
11:25～11:55	テーマ③ アルミニウムの変形集合組織予測モデルの汎用化	元横浜国立大学 関根 和喜
11:55～13:00	昼食	
13:00～13:30	テーマ③ AZ61 マグネシウム合金の高温変形集合組織と曲げ特性に及ぼす集合組織の影響	横浜国立大学 福富 洋志
13:30～14:00	テーマ③ アルミニウムの結晶方位とひずみ量の関係	豊橋技術科学大学 小林 正和
14:00～14:30	テーマ④ A1050 アルミニウム板の冷延・再結晶集合組織に及ぼすロール径およびパススケジュールの影響	三菱アルミニウム株式会社 吉野 路英
14:30～15:00	テーマ④ A1050 アルミニウムの再結晶集合組織に及ぼす加工・焼鈍条件の影響	株式会社神戸製鋼所 伊原 健太郎
15:00～15:15	休憩	
15:15～15:45	テーマ④ Al-Mg-Si系合金における再結晶集合組織に及ぼす固溶析出状態の影響	株式会社 UACJ 中西 英貴
15:45～16:15	テーマ④ Al-Mg-Si系合金の再結晶集合組織に及ぼす熱的安定な析出物の影響	北海道大学 池田 賢一
16:15～16:45	テーマ⑤ アルミニウムの摩擦ロール表面処理および異周速圧延による集合組織形成	宇都宮大学 高山 善匡
16:45～17:15	テーマ⑤ 繰り返し重ね接合圧延したA5052アルミニウム合金の低温焼きなましによる延性の改善	和歌山工業高等専門学校 檜原 恵蔵
17:15～17:20	閉会の挨拶	研究部会幹事 高山 善匡

（世話人：大阪府立大学 井上博史、宇都宮大学 高山善匡、日本大学 星野倫彦、千葉工業大学 寺田大将）